



# “笑い”のエッセンスを 加えて

[秋田市観光クチコミ大使]

有限会社アミー・パーク 柳谷真澄(芸名:大村小町)氏

現在、若手お笑い芸人「大村小町」として都内を中心に活動しています。秋田県の話題をネタとして取り上げ、嘘はつかず、やや過剰にお話しさせていただきます。

若手芸人の現場は千差万別で、綺麗な劇場の舞台で100人以上のお客様の前でということもあれば、小さな和室で10人弱のお客様の前でということもあります。幸運にも、とある番組の地域公開収録の現場が秋田県となったとき、秋田ネタをする私に白羽の矢が当たり、秋田市文化会館の大ホールに立たせていただいたのがもう3年前になります。1,000人以上の秋田のお客様の前で披露させていただいたこと、それがテレビで放送されたことは大切な思い出になりました。

造詣を深め説得力を出すため定期的に「秋田ふるさと検定」に挑戦させていただいておりました。その経緯で「秋田市観光クチコミ大使」へ任命していただきました。多くの大使の皆様 비해、社会貢献できている度合いは低いと思います。にもかかわらず認知していただいたことが本当に嬉しかったです。秋田商工会議所の懐の深さに感謝しています。

正直に言うと、芸人をはじめるまで秋田県についてまったく興味がありませんでした。しかし、劇場のお客様は、時々出す秋田の話題に予想以上に興味を示してくれる事が多く、秋田県は「何もない、ただの田舎」ではないのかもしれないと思うようになりました。東京都は全国各地からたくさんの方が集まっています。そんな中、秋田県出身を羨ましがられることがあったりします。理由は全国各地の皆様が「秋田県といえば」からすぐ連想できるワードがたくさんあるからだと思います。「なまはげ」「きりたんぼ」「秋田美人」あたりが連想トップ3として「あきたこまち」「稲庭うどん」「かまくら」「いぶりがっこ」

「比内地鶏」「超神ネイガー」「日本酒」「大曲の花火」など。ほかのご出身の方は、ご自身の出身県から連想できるワードが、ここまで多くないというのです。(謙遜もあるかもしれませんが)

また、様々な都道府県ランキングデータがある中で、秋田県は犯罪件数が非常に少なく、義務教育の成績がトップ。「ちびっ子がよい子に育つ環境」ナンバーワンに選ばれていました。誇らしい限りです。全国的に有名な17年連続ワースト1もあるにせよ、それは改善の傾向にあるようですし、秋田県民というキャラクターを舞台上で背負ったときに初めて秋田県には誇れるものが多かったと気づくことができました。

まだまだ未熟ですが、いつか何らかの形で故郷に貢献できるように。全国各地どこへ行っても、秋田の良いところ、悪いところも含めて堂々と楽しい話題(クチコミ)が提供できる芸人・人材になれるよう精一杯がんばりたいと思います。



劇場で秋田の話題をする柳谷氏

## ■略歴

- 1978年 秋田県能代市生まれ
- 1997年 秋田県立能代高等学校卒業
- 2008年 芸能事務所(有)アミー・パークへ所属